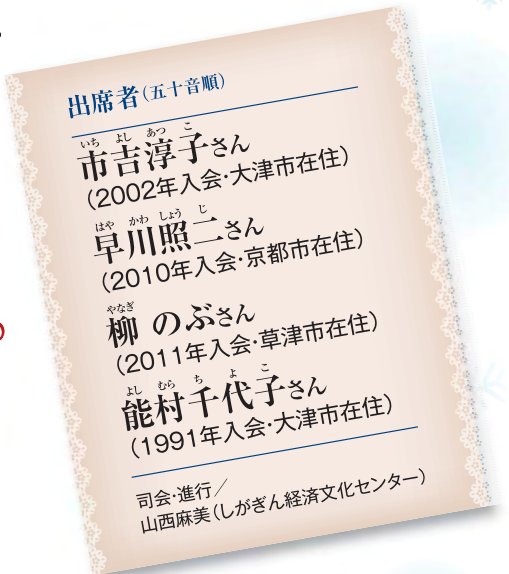


特典を使って楽しく!お得に! 私たちの友の会活用法!!

KEIBUN友の会の会報誌「club keibun(クラブケイブン)」が400号を迎え、
会員3万人を代表して4人の会員の方に会員サービスや主催事業、会報誌などについて
ご意見をうかがいました。



**音楽、グルメ、お買い物:
特典の使い方は十人十色!**

「友の会に入会いただいたときつかけ、会員サービスをどのように利用されているか、お聞かせください。」

市吉 ● 大津に引越してきて40年近くになりますが、お友達に「KEIBUN友の会はお得よ!」と誘ってもらって13年前に入会しました。私が一番よく利用しているのはコンサートです。年6回のしがぎんホールシリーズはセットで申し込んでいますし、びわ湖ホールでの演奏会にもたくさん行っています。本当にいっぱい楽しませていただいています。

早川 ● 私は6年前にKEIBUN第九合唱団に入ることがきっかけで入会しました。

柳 ● 私も第九合唱団がきっかけでした。でも正直いつてサービスのことはよくわかっていなくて...(笑)。

近鉄草津店でも、同じようにお買い物優待券が使えます(4階サービスカウンターで、会員カードの提示で引き換え。ぜひご利用ください)。

能村 ● それは知らなかったわ。
「柳様は、5年にわたって複数の文化講座を受講いただいています。受講の動機は何だったのですか?」

柳 ● 滋賀銀行の窓口に行った時に、たまたまKEIBUN文化講座のパンフレットをみつけたんです。家の中で本を読んだり、パソコンをしているばかりだったので、外に出るきっかけになると思いました。最初はオペラの講座と、せっかく滋賀に住んでいるのだからと考古学の講座を選びました。とにかく

「将来有望な素晴らしい 演奏家を紹介してもらえて とてもうれしい」

市吉淳子さん



早川 ● 私はコンサートのチケットが3,000円割引(年2回)になるとか、他にも特典がいろいろあることを知って、これなら年会費も十分元が取れるなと(笑)。それにインターネットで席を指定してチケットが買えるのが便利だね。特に「ねつとも」会員の先行予約はいい席が確保できるので、行きたい公演は発売初日の受付開始時間に待機して、狙い撃ちで買っていますよ。

「KEIBUN文化講座に 通うことがすっかり生活の 一部になりました」

柳のぶさん



先生のお話がおもしろかった。楽しく聴いているうちに、考古学で勉強したことが万葉集にも関係していることを知って、これを知ったらうちも知りたいな、となってきて...。いつも私が知りたいな、と思っているテーマの講座が次々に始まるんですよ。それで受講数が増え、どんどん増えてしまいました(笑)。

早川 ● 5年も継続して複数の講座を学ばれているなんて、すごいですね。
柳 ● いえいえ、学生時代のようにレポートやテストのプレッシャーもないですから(笑)。席に座って先生の講義を聴いているのが楽しくてしょうがないんですよ。週に3回、家から草津会場まで歩くのもいい運動になつていて、講座に通うことがすっかり生活の一部になりました。

第九合唱団、文化講座: 今後に期待すること

「早川様、市吉様は弊社主催のコンサートによく参加いただいています。内容についてはいかがでしょうか?」

早川 ● しがぎんホールは演奏者と客席が近いので親近感を覚えますね。びわ湖ホールはとても聴きやすく、音響が素晴らしいので、KEIBUN主催のコンサートにはできる限り聴きに行っています。昨年11月

「KEIBUN第九 合唱団に参加して、 それが人生の楽しみに!」

早川照二さん



めますから、ハガキかFAXで申し込んでいます。

「能村様はグルメチケットをよくご利用いただいていますね。」

能村 ● 私は滋賀銀行の方に勧められて入会し、最初は主人とグルメチケットを使ってホテルで食事をしていました。今では息子夫婦や実家の両親、親戚を誘ったりして、みんなで食事を楽しんでいます。多人数で利用するので、結構な出費にはなりませんが(笑)。また、息子は結婚式場選んで、グルメチケットを

「グルメチケットを利用して 家族のきずなを 深めています!」

能村千代子さん



のチエコ国立ブルノ・フィルハーモニー管弦楽団のコンサートはとても澄んだ音で、今まで行ったコンサートの中で一番印象に残っています。

市吉 ● あのコンサートはピアノの南千勢さんが素晴らしいかったですね! 私はしがぎんホールシリーズで地元の手演奏家を取り上げられていることに非常に感動しました。以前は有名な方の演奏会にはばかり行っていたのですが、指揮者の佐渡裕さんの「みんなが聴きに行つてはじめて若い演奏家が育つ」という言葉に触れて、若いアーティストの演奏を聴くようになりました。しがぎんホールシリーズで知った若い演奏家を応援したくて、遠くの演奏会へも足を運んでい

使つてよく食事したホテルを選びました。家族にとつても大切な時間、思い出の場所になっています。
早川 ● 私は京都に住んでいるので、グルメや音楽以外にも、京都の大丸や高島屋のお買い物優待券(年2回)会報誌に封入)を妻が喜んで使っていますね。
能村 ● 私も近所のお友達と京都に遊びに行く時は、友の会のお買い物優待券を持っています。



左/KEIBUN第九合唱団の練習風景 右上/KEIBUN文化講座の現地学習 右下/関西フィルリラックスコンサート(野洲公演)

るんですよ。将来有望な素晴らしい演奏家を紹介してもらって、とてもうれしいです。

—早川様は第九以外の合唱にも参加いただいていますか？

早川 ●はい、KEIBUN主催のコンサートで合唱団が必要な時はいつも参加させていただいています。今はそれが人生の楽しみの一つになっています。第九は年に1回、12月しか出演する機会がないので、春か夏にも合唱団が参加できるコンサートがもっとあればいいのに、と合唱仲間と話しているんです。しがぎんホールでの練習環境も素晴らしいですし、コンサートへの参加が増えれば合唱団のレベルも上がると思います。

—文化講座はいかがでしたでしょうか？

柳 ●現地学習がある講座もあって、それがまた楽しい！ 知らないところへ連れて行ってもらえるし、知らない方とも話してきたりするので…。外へ出る講座がもっとあったらいいなと思いますよ。

早川 ●音楽の歴史や理論の講座があれば私も聴いてみたいですね。

—クラシック音楽をさまざまな角度から解説される「音楽の招待席」という講座も開講していますので、ぜひ参考にしてください。

能村 ●私は天台宗の酒井雄哉大阿闍梨の講話を聴き、感銘を受けたことがあり、お坊さんのお話を聴くのが大好きなんです。

法話の講座があったら行きたいですね。

柳 ●ただ、講座のラインナップを見ていて、もうちょっと若い人が興味を持つような講座もあればいいのかなって思いました(笑)。

早川 ●合唱団も同じです。今回は青少年の参加費を安くしたんですよ。合唱団も若い人が来られたら、さらに活性化するはずですよ。

—グルメに関してはいかがですか？

能村 ●各ホテルでシーズンに応じていろんなフェアをやっておられるんですね。カニとかイタリアンあるいはアメリカンビーフのフェアとか。長年通っていると毎年似通ってくるので、もう少し工夫してくださるといいな、と思います。コンサートと食事がセットになった企画があればぜひ行きたいですね。

市吉 ●一昨年、ギターの松本大樹さんのリサイクルでは、ホール周辺のレストランを指定して、ランチ&コンサートの企画がありましたね。こんな行けたら贅沢ぜいたくよね、と思っていました。私自身は当日、バタバタして演奏会だけでしたけど(笑)。

私たちの知らない滋賀をもっと紹介してほしい！

—最後に会報誌「club keibun」の内容についてご意見をいただけますか？

市吉 ●滋賀について私の知らないこと、

行ったことがない所がいっぱい載っているの、いつも隅から隅まで読んでいますよ。

早川 ●確かに、他の冊子では滋賀や大津を紹介する記事が少ないので、会報誌の記事は魅力です。それから、私は特に第九の合唱に関心がありますので指揮者のインタビューはいつもじっくり読みます。

市吉 ●私も演奏家の方をよく知りたいので、指揮者や演奏家のインタビューがあるのとくっくと親しみが湧きますね。

能村 ●私が見るのにはグルメページです。写真をパッと見ておいしそうだなあつて(笑)。そんな私でも以前紹介されていた赤あか後寺ごじの観音様がとても気になって、主人と二人で訪ねて行ったことがあるんです。今後もそういった滋賀のお寺を紹介して欲しいですね。私のまわりで使っている人はみんな満足しているサービスなのに、今も「KEIBUNって何？」と聞かれることもよくあつて(笑)。友達でも特典を利用してない人がいるし、もっとPRしてたくさんの方にKEIBUN友の会の楽しさを広めてください。

—読者の皆さまの貴重なご意見、ありがとうございました。今後も会員の皆さまをワクワクさせるような企画を進めてまいります。本日はありがとうございました。

(敬称略)

※1 酒井雄哉(1926年～2013年)／天台宗の僧侶。
※2 長浜市高月町の湧出山(ゆるぎやまの麓に建つ)寺院。